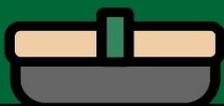


神戸市立若草小学校

上半期 実践事例報告

(4年生～6年生)



小学校  
4年

社会

【単元名】

くらしと水・①くらしをささえる水

【目標】わたしたちが使う水は、どこで、どのように使われているのか気付くことができる。

【活用したツール】

デジタルノート、思考ツール

【授業の内容など】

1、「水」は、どこでどのように使われているのか

- ・家で
- ・学校で
- ・地域で

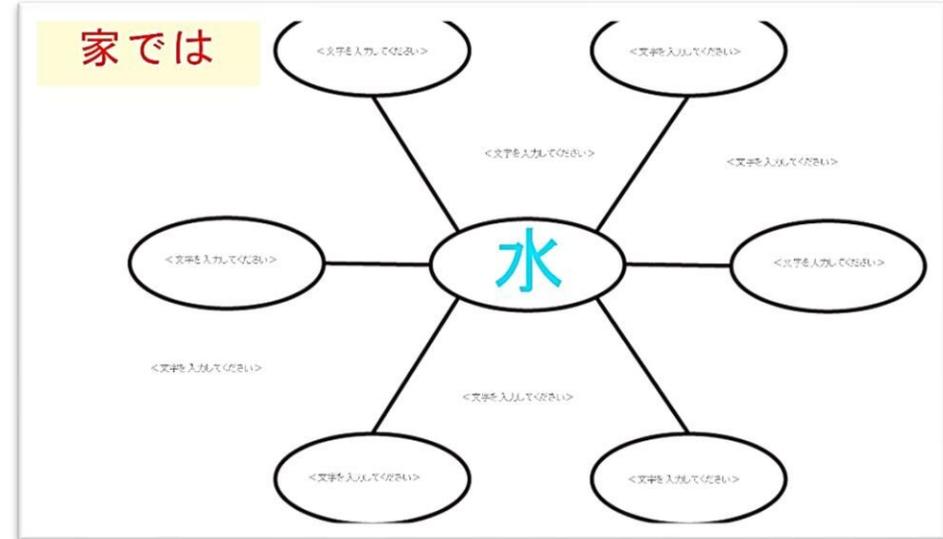
→ 思考ツールで情報整理

2、学校の「じゃぐち」がどこに、どれだけあるのか  
→デジタルノートに校舎図を貼りつけて配布する。  
→児童は端末を持って校内を回り、蛇口の場所、数調べを行う。(第2時)

3、「水」に関する疑問(?)を考える

- ・水はどこからきているのか。
- ・どうやって家に水が流れてきているのか。
- ・どの水を使っているのか。
- ・使った後の水はどこへ行くのか。

4、「水」に関する疑問(?)を共有する



課題の設定



整理・分析

小学校  
5年

算数

【単元名】

わり算の世界をひろげよう 小数のわり算

【目標】 「学習のしあげ」の練習問題をデジタル教科書を使って解く

【活用したツール】  
学習者用デジタル教科書

【授業の内容など】

- ・ 児童用のデジタル教科書を使用し、学習のしあげをする。
- ・ パソコン上のメモ欄に筆算を手書きし、問題を解いてもOK、紙のノートに問題を解いて、答えのみパソコンに入力してもOK



整理・分析



振り返り・改善

- 分からなかったときや、間違えたときに、解説を見ることができる。  
⇒これが子どもたちにとって効果的だった。（子どもたちから好評だった）
- 個々の進捗で学習が進められていくため、教師は苦手な児童のそばにつくことができた。
- △ メモ欄の手書き精度が良くないため、紙で計算した方がやりやすいと感じる子が多く、パソコンと紙とをいったりきたりして、机の上が雑然とした。



小学校  
5年

理科

【単元名】  
植物の発芽と成長

【目標】 実験後の結果、考察をまとめる。グループで1つのノートを完成させる。

【活用したツール】  
カメラ、デジタルノート

### 【授業の内容など】



整理・分析

実験時に撮影した画像を用いて、グループで結果と考察をまとめた（共同編集）  
活発に意見交換しながら、ノートを作成していた



#### 6はん の考察

問題：種子が発芽するためには、水のほかに何が必要なのだろうか。

必要なもの：空気・適した温度

実験でどのようなことが見られたか  
空気に触れているもの+周りと同じ温度 の種子が発芽した。けど、空気に触れていない+周りより温度が低い は発芽していいなかった。



まとめ・表現

グループごとに発表。  
ほかの班の写真を見たり考察を聞いたりすることで、新たな学びもあった。

小学校  
5年

国語

【単元名】  
(漢字テスト (読み) )

【目標】 5年生で習う漢字が読める。

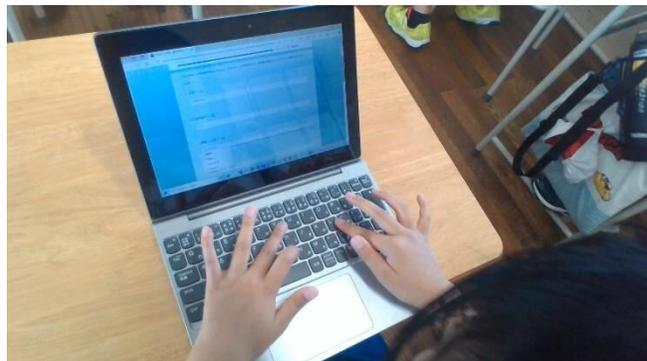
【活用したツール】  
Forms

【授業の内容など】  
Forms機能を使って、漢字の読みテストを行った。



### メリット

- ・子供たちはすぐに解答したものが合っていたのかを確認することができる。
- ・タイピングの練習になる。
- ・採点を自動でしてくれるため教師の業務改善になる。
- ・1度、Formsをつくれればコピーして活用することができる。



5年生 (1学期) 漢字読み①: 70~90 - 6/16/2024

プレビュー スタイル 回答を収録 プレ

3. 想像上\* (5点)

回答を入力してください

正解: そうぞうじょう

4. 経験\* (5点)

回答を入力してください

正解: けいけん

5. 心情\* (5点)

✓ 正解 5/5 点数

4. 経験\* [Q]

けいけん

✓ 正解 5/5 点数

5. 心情\* [Q]

しんじょう

✓ 正解 5/5 点数

小学校  
5年

家庭

【単元名】

ソーイング はじめの一步 小物づくり

【目標】 自分の課題（めあて）を設定し、小物づくりに取り組む。過程を記録し、ふり返る。

【活用したツール】  
デジタルノート

### 【授業の内容など】



課題の設定

- ・ 全3回の活動の中で、自分なりのゴールをもつ。
- ・ 毎時間ごとに自分の課題（めあて）を決めてから、活動に入る。
- ・ 毎時間ごとに、作品の工夫した部分を撮影し、ふり返りを記入する。
- ・ 提出を終えた児童同士は相互閲覧することで、友達の良いところを自分に活かす。

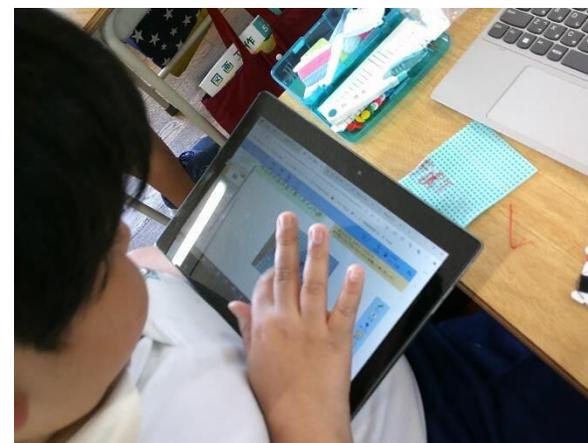


振り返り・改善

① 今日の日づけ: 月 日 名前: \_\_\_\_\_

めあて どこまで仕上げるか、ゴールを書く。(例: 下書きを完成して、名前をぬう。)  
気をつけたいこと、がんばりたいこと。(例: 下書きはアルファベットに挑戦したい、まっすぐにぬえるようにする。)

ふりかえり めあてに対して、自分のがんばったところ、上手くいったところ、  
上手くいかなかったところ。次、もっと良くするためにがんばりたいことなど



小学校  
5年

総合

【単元】 若草の地域の魅力を発信しよう  
～若草って めっちゃええやんフェスティバル～

【このスライドの位置づけ】  
毎時間の学習の流れを示す

【活用したツール】 PowerPoint、  
GoogleEarth、デジタルノート

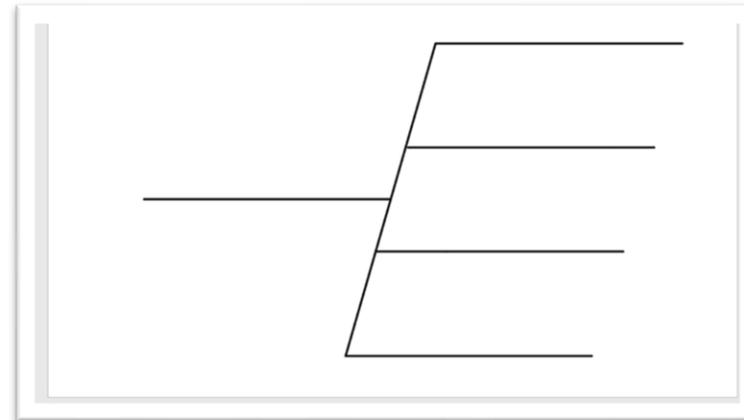
【単元内 毎時間の授業の流れ】

- ①前時までのふりかえりをする。
- ②単元の最終ゴールを確認する。
- ③今、ゴールに向かうためにすべきことを確認する。
- ④今日のめあてを考える。
- ⑤グループに分かれて、課題に沿って活動を行う。

(活動例)

- ・発表に向けたPowerPointの作成
- ・思考ツールを活用した情報の整理分析
- ・GoogleEarthを使った、地域の様子の再確認

- ⑥めあてに沿って、デジタルノート上で各自、ふりかえりを行う。



プラス	マイナス	Next



課題の設定



情報の収集



まとめ・表現



整理・分析



振り返り・改善

小学校  
5年

総合

【単元】 若草の地域の魅力を発信しよう  
～若草って めっちゃええやんフェスティバル～

【目標】 地域の魅力を探しに行く。情報収集をする。

【活用したツール】  
カメラ、デジタルノート

【授業の内容など】

★今から何をしに地域に出るのか、めあてをきっちりと押さえる。

- ①自分たちの地域の魅力を探しに地区探検に出かける。（端末持参）
- ②自分たちのテーマにそって写真を撮る。
- ③どのような魅力があったのかをデジタルノートに個人でまとめる。



プラス

車にある川は見たことがあって  
どんな川かとかは知らなかった  
けど今日その川に行ってみると  
いつこの川ができたかとか  
なんていう名前の川かが初めて  
知れました。結構昔からできた  
川だったので魅力になりそうでした。  
あと若草町と一緒にバス停も  
ありました。また探検している  
ときに気づいたのは若草町は小さ  
かったけど車はとも範囲が広く  
かったから自動販売機もいっぱい  
あって坂道も若草町よりあると  
いうことです。車にしかないお店  
もあったのでこれは魅力になると  
思います。そして若草にある  
公園東西南北も全部回れたので  
よかったです。  
車で班で決めた行きたい場所も  
全部行けてよかったです

マイナス

Next

どうゆう店とか何を  
する店なのかは全然  
見に行っただけで  
知らないの、  
パソコンを使って  
詳しく何をする店  
なのかを調べて  
魅力になるか  
ならないのを  
分けていきたいです。



課題の設定



情報の収集



まとめ・表現



整理・分析



振り返り・改善

小学校  
5年

総合

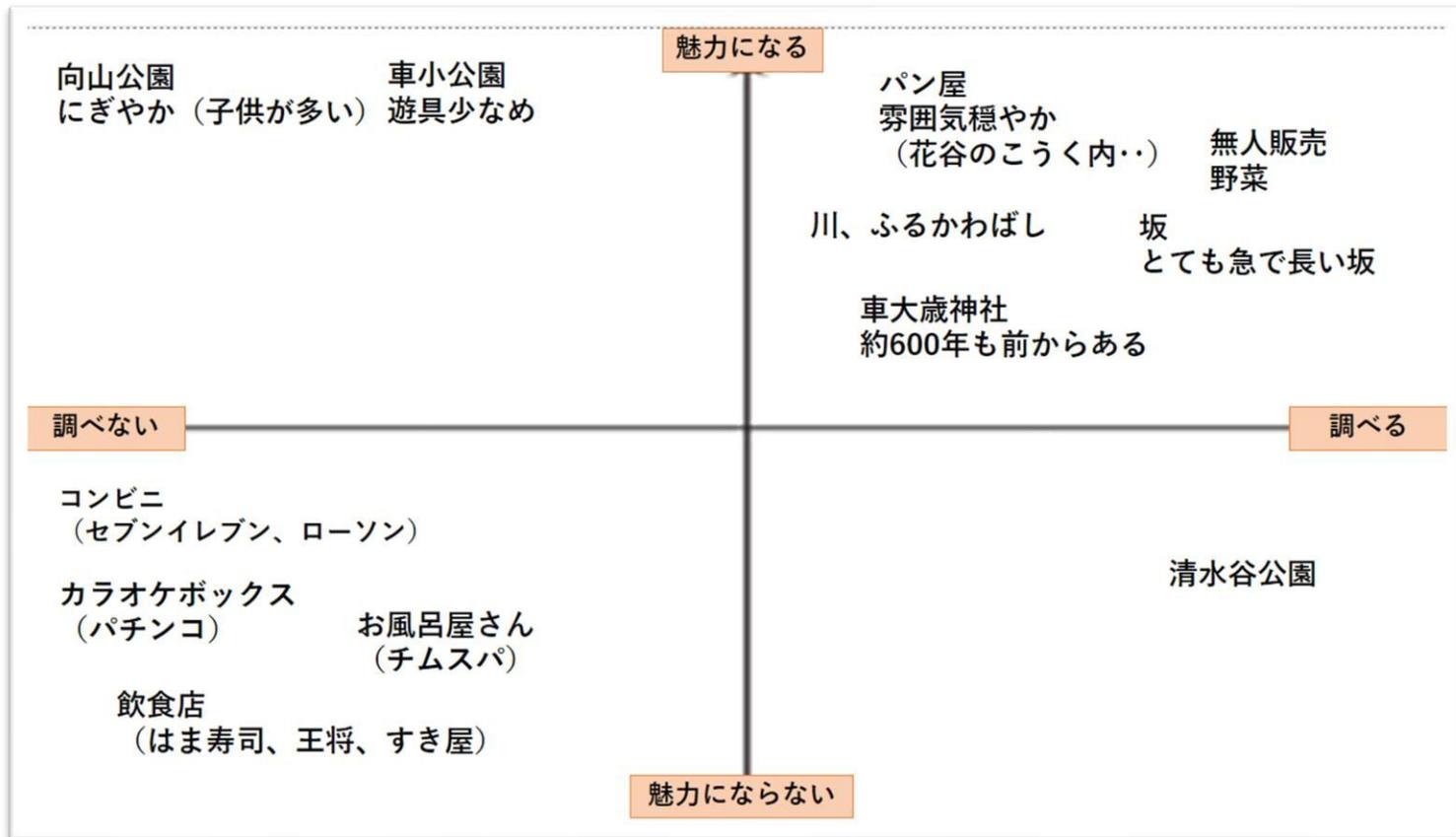
【単元】 若草の地域の魅力を発信しよう  
～若草って めっちゃええやんフェスティバル～

【目標】「整理分析」  
自分たちが見つけたものが魅力になるか、ならないかを分析

【活用したツール】  
デジタルノート

### 【授業の内容など】

地域への探検に出て自分たちが見つけてきた情報が、「発信したい魅力」となるかならないか、グループごとに座標軸を使って整理分析をする。



課題の設定



整理・分析



振り返り・改善

小学校  
5年

図画工作

【題材名】

まだ見ぬ世界（全6時間/本時第1次1・2時間目）

【目標】 心に留まる写真から、まだ見たこともない世界の様子を想像し、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。

【活用したツール】 PowerPoint、Teams、カメラ

【授業の内容など】 本題材では、児童が自分で心に留まる写真を撮影することに大きな価値がある。これまでは、教師が提示した写真を児童に選ばせていた。児童は、自分の端末で撮影し厳選した1枚を、Teams上のPowerPointの自分の出席番号のスライドにアップロードした。必要に応じて「図の形式」から、色の感じやマチエールを変えられることを伝えておくと、児童は、端末の中で自分の撮影した写真での様々な変化を楽しみながら写真を再構成していた。PowerPointやWordといった汎用アプリで、簡単に画像の雰囲気を変えることができ、教えることにも意図があった。教師はPowerPoint上のデータなら、簡単に印刷することができた。



課題の設定

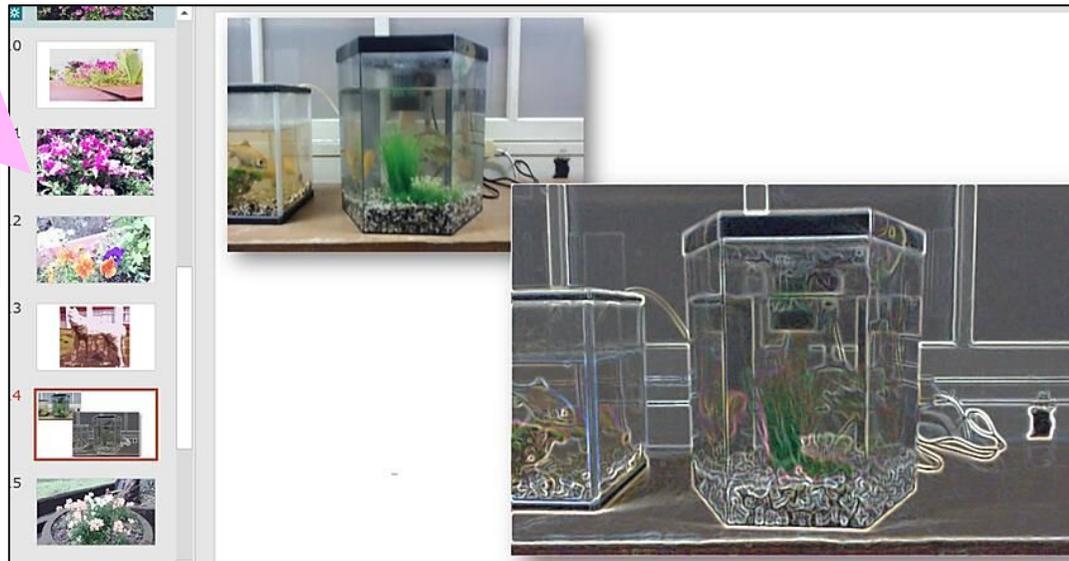


情報の収集



整理・分析

児童一人一人が  
アップした写真。  
共同で使用



小学校  
5年

図画工作

【題材名】

まだ見ぬ世界（全6時間/本時第2次3・4時間目）

【目標】 心に留まる写真から、まだ見たこともない世界の様子を想像し、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。

【活用したツール】 PowerPoint、Teams、カメラ

【授業の内容など】 児童は自分が撮影し、必要に応じて加工を施した写真を、自分で決めた色の画用紙に貼り付けた。画用紙の形も自分で決めた。写真を分割して貼ったり、写真につながるように絵を描き足したりと、ひとりひとりが自分の表現方法と進め方で学んでいた。誰一人として手を止めていなかった。



整理・分析



まとめ・表現



小学校  
5年

図画工作

【題材名】

まだ見ぬ世界（全6時間/本時第3次6時間目）

【目標】心に留まる写真から、まだ見たこともない世界の様子を想像し、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。

【活用したツール】

デジタルノート、Teams、Forms

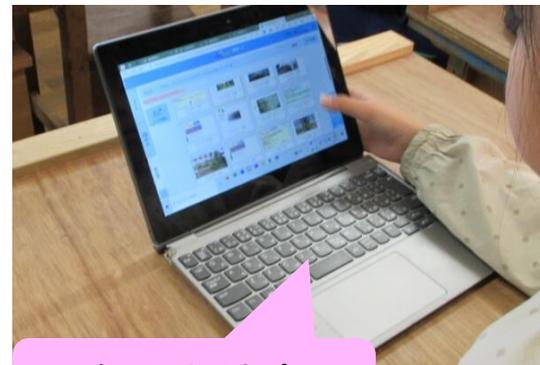
【授業の内容など】図工では、毎時間、デジタルノートでふり返りをを行っている。昨年度、「学びを深めるふり返りとは？」の学習で、児童から導き出した振り返りに必要なキーワードを載せた「マイ・ふり返りシート=マイふり」である。振り返る項目が明確になり、振り返りの質が向上してきた。本時では、題材の最終時間であり、これまでのマイふりから作品につける名札も、端末で作成した。その際も、これまでの振り返りのコメントなどをコピーして貼り付けるなど、デジタルだからこそできる名札となった。TeamsでFormsのリンクを送付し、回答を共有することで、感想を伝え合い、まとめとした。



まとめ・表現



振り返り・改善



名札も共有

児童Aのマイふり

③6月4日(火)

じぶんのめあて ちょうせんすること マイ・ふり 絵材料 形 準備方法

前は右ばかり絵を描いたので次はひだりにいっぱい絵を描きたいです。あと時間をたいせつにして道具も使う

めあてについて の、じぶんのふり返り

めあてにしていた左に絵を描くということと時間を大切にすることができた。でも道具を使うことはあまりできなかった。だから次つくる二枚目の作品は道具をいっぱい使って作れたらいいと思います。

次へ 二枚目の写真を撮ってきたら絵もちょうと描き道具を使う

みんなが道具とかをいっぱい使って静かに集中して作品を作ることができた。

一回目 三回目

いっぱい絵をかきました

まだ見ぬ世界  
題名 雨のち虹

5年1組16番・名前

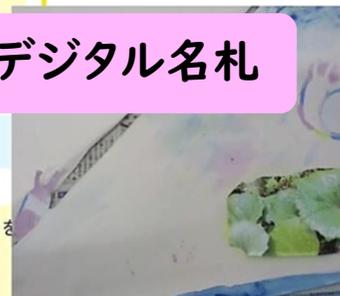
児童Bのデジタル名札

写真の  
場所 学校の校門

作品のみどころ・工夫したところ・じぶんらしさなど

私は、雨が降ったように暗い気持ちから虹がかかったような明るい気持ちを自分らしく表現しました。  
あと、色と明るさもじぶんらしく工夫しました  
虹の時は、色を元気に明るくして雨の時は少し色を暗くしてじぶんらしさをだしました。  
色合いにも気がつけたのでぜひ見てください

さいしょ〜とちゅうは、  
こんな感じだったよ



小学校  
6年

国語

【単元名】  
デジタル機器と私たち

【目標】 集めた情報を基に、提案内容を決めることができる。

【活用したツール】 Forms、  
PowerPoint、デジタルノート

## 【授業の内容など】



情報の収集

- ・ 提案するテーマに合わせてインターネットやアンケート、本、インタビューに分かれて、情報を集める。
- ・ 集めた情報をPowerPointや発表ノートに記録し、班の中で共有する。



まとめ・表現

- ・ 調べたことを持ち寄り、班で伝え合う。
- ・ 調べた事実の体験を出し、提案内容を決める。



振り返り・改善

- ・ 今日のふりかえり（Forms）
- ・ 次時にすることをデジタルノートに記録し、次回の見通しを立てる。



**1.提案のきっかけ**  
**経験**

- ・ 朝のニュースでSNSで投稿した写真から家が特定されたということを見たことがある
- ・ ニュースでサイトに個人情報を入力して個人情報がばれたという記事を見た

**調べて分かったこと**

調べると投稿する前にしっかりと確認するのに個人情報が特定され、ストーカー被害にあい警察沙汰になったという事例がある



SNSで投稿された写真で、家が特定されたというニュースを見たことはないだろうか。私たちのグループでは、みんなが居るところがある。インターネットで調べると、投稿する前

小学校  
6年

図画工作

【題材名】

墨と水から広がる世界（全2次・本時は 第1次の1時間目）

【目標】 墨と水を使ってできることを試しながら表現したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。

【活用したツール】 Teams  
PowerPoint、デジタルノート

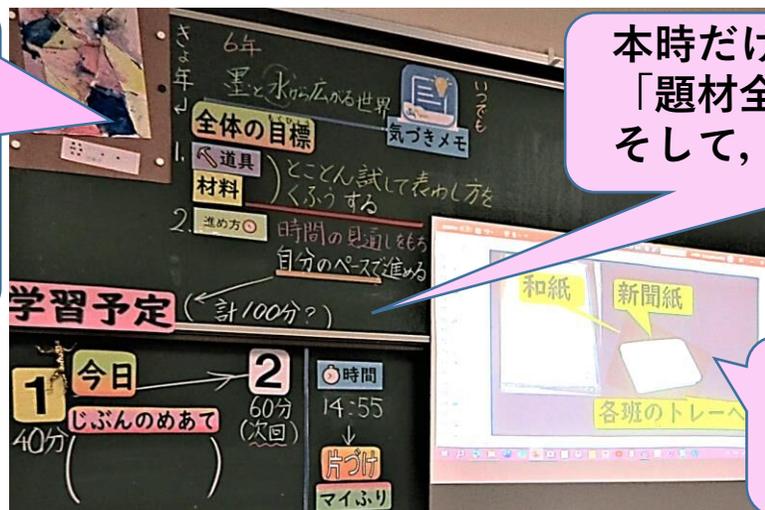
【授業の内容など】 学習の見通しをもち、自分の課題（ここでは、めあて）を設定する

あらかじめ教師が、PowerPointで作成した「学び方」を投影。Teamsの図工チャンネルにも投稿し、児童の端末でも、手元で見ることができる状態にした。材質の違う6種類の紙（大きさ・形自由）、8種類の用具（筆3種・はけ3種・たわし・スポンジなど）を用いて、墨と水からどんな世界が広がるのかを、とことん試し、自分のイメージしたことを、表し方を工夫しながら「計100分で表す」という内容を把握をさせた。児童はいつも通り、本時の自分のめあてを デジタルノートの「マイ・ふり返しシート」のめあての欄に入力し、課題を設定してから学び始めた。

?

課題の設定

昨年度の学び  
とのつながり



本時だけを示さない  
「題材全体」を横軸で表示。  
そして、本時がどこか示す

可視化して示す、教師の余計な説明をなくす  
(片付け時)



小学校  
6年

図画工作

【題材名】

墨と水から広がる世界（全2次・本時は 第1次の2時間目）

【目標】 墨と水を使ってできることを試しながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。

【活用したツール】  
カメラ、デジタルノート

### 【授業の内容など】

#### 『情報の収集』

・紙の種類、用具の使い方、墨と水の量などの違いから、どのような表現ができるのかとことん試していた。児童は、試すたびに、いつも通り自分のタイミングで撮影していた。中には、和紙に墨がにじんでいく様子だからこそ、動画で残す必要性を感じて記録している児童もいた。デジタルノートには、使った紙や道具の種類を素早くチェックし伝えることができるようにした。クラス全員の記録も、クラウド環境を活かし、いつでも相互に見られるよう設定しておき、各自のタイミングで共有していた。時間が経つにつれ、試したことから、紅葉や山の風景などを表したくなり、端末で検索した風景を参考にしている児童らがいた。お互いの実際の制作の様子を観合ったり、端末内での情報の収集・共有・他者参照を行えたりしたことで、誰ひとり手をとめることなく制作に向かう姿が見られ、学びを深めることができた。



情報の収集

この道具だけで描いた

クシャクシャにしてみた!

撮影と共に、試したことを○や矢印で示していた

道具 筆(細い・普通)・はけ(小・中・大・特大)・スポンジ・たわし  
そのほか( )

材料 和紙(小・中・大)・半紙(うすい・普通) ○を入れる

資料置き場のふせんを使い、友達にメッセージを送ろう!

自分の状況を示すマーク

紙・用具の種類に○するだけ

気づきメモ・・・  
5年生の時、      さんが、筆の先っぽをはじくみたいな感じのをやっていた、真似させてくれたのを思い出して、やってみたら、花火みたいになった

道具 筆(細い・普通) はけ(小・中・大・特大)・スポンジ・たわし  
そのほか( )

材料 和紙(小・中・大)・半紙(うすい・普通) ○を入れる

小学校  
6年

図画工作

【題材名】

墨と水から広がる世界（全2次・本時は 第2次の3・4時）

【目標】 墨と水を使ってできることを試しながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。

【活用したツール】 デジタルノート、カメラ、PowerPoint、Scratch など

①



【授業の内容など】 前時の学びをいかしながら、奥行き、動き、バランス構成の美しさ、自分のイメージなどを、粘り強く表現していた。自分らしく表現する方法として、本校の図工ならではの様々な取組が見られた。自分の撮影した写真の一部をトリミングしてブロックを作り、Scratchでシューティングゲームを作成した児童

②デジタルノート上で、撮影した写真を複数枚コピーし、組み合わせる新たな作品を作成した児童  
③構成した写真のスクショをPowerPointに貼り付け、「図形の書式」からアート効果で再編集した児童もいた。多彩な表現方法は、各自のまとめにもなった。端末内で共有することで、図工の見方・考え方を更新させ、探究的な学びで表現力を高めることができた。



まとめ・表現

③



②



小学校  
6年

図画工作

【題材名】

ドリーム・プロジェクト（全4次・本時第1次1・2時間目）

- 【目標】
- ①だれもが楽しくて幸せに過ごせる未来の学校を提案する
  - ②提案がもっともよく伝わる表し方を工夫して表す
  - ③6年生や地域の人にわかりやすくプレゼンテーションする

【活用したツール】 Teams、Forms、Excel、Word  
PowerPoint、Scratch、デジタルノート、チャットなど

【授業の内容など】 児童は、前題材での「わたしの大切な風景」で、本校での思い出の場所を絵で表した。本題材は「そんな若草小学校は、未来にはどんな学校になっているのだろうか？」と問いかけた。Society5.0についての動画を視聴し、「未来」がどんな社会になっているのかイメージをもった。その上で学習予定をMicrosoft Teamsで伝え、表現方法、個別またはグループ制作か等、全て児童自身で決めて進めることとし取り組み始めた。〈以下、学習予定と使用ツール〉

- ①題材とその目標、学び方を知る（Microsoft Teams）
- ②若草小の現在の問題をチャットで出し合う（チャットアプリ）
- ③検索、本を読む等をし、自分が一番解決したい問題を課題設定。
- ④自分と同じ課題をもった友達を見付け、対話をして情報交換したり、グループでプロジェクトを進めるか等を話し合う。（Microsoft Teams, Excel）

- ⑤自分が決めた課題について、表現方法を決めて取り組む。（Microsoft PowerPoint, Scratch, 模型作り, デジタルノート等）
- ⑥随時プレゼン、最も自分（自分たち）の課題や解決方法を伝えられるプレゼンを行う。

進め方についてFormsで問う

チャットで  
改善点を  
出し合う



課題の設定



情報の収集



整理・分析



まとめ・表現



小学校  
6年

図画工作

【題材名】

ドリーム・プロジェクト（全4次・本時第2次3・4時間目）

- 【目標】
- ①だれもが楽しくて幸せに過ごせる未来の学校を提案する
  - ②提案がもっともよく伝わる表し方を工夫して表す
  - ③6年生や地域の人にわかりやすくプレゼンテーションする

【活用したツール】

Teams、Excel、PowerPointなど

【授業の内容など】

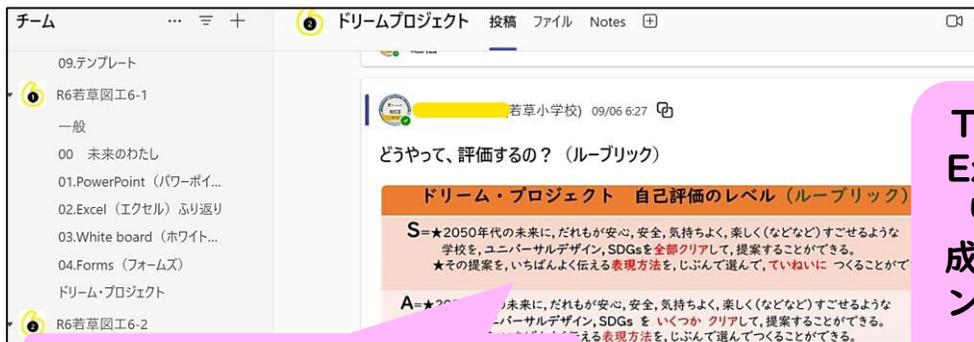
表現方法が自由であるので、評価規準（ルーブリック）を示し、児童と共有して自分事にできるような手立てをとった。Microsoft Teamsの、図エクラスにドリーム・プロジェクトのチャンネルを作成して提示した。

前学年で既習事項の、SDGzとUDについての視点が必要であることを考慮して自分やグループで決めた課題の見直しをする児童もいた。

各自での課題や振り返りは、Teams上のExcelに入力させ共有した。その際、PowerPointを作成した児童は、Teams内の所定のフォルダにアップロードしそのリンクをコピーさせて、Excelに貼り付けるようにした。Excel1枚で、PowerPointなどの資料も共有できるようにし、端末操作に時間をかけずに図工のつくる時間を確保する意図もあった。



Teams内の各フォルダに各自でアップロードする



Teamsで評価規準を提示する

Teams内Excelに振り返りや成果物のリンクを載せさせる

出席番号	名前	ドリーム・プロジェクトの、パワポ、Word、S	ふりかえり・自己評価	PowerPointなどのリンク
1	若草小学校正門	模型	次は作りたいです。自己評価は星5中星3です。	
2	オンライン授業	模型	そもそも2050年の未来でオンライン会議の方法がかわっていると思うので次はそこを調べていきたい	<a href="#">ソサエティ5.0.pptm</a>
3	平等・不平等について	模型・パワポ	今日は平等・不平等についての模型を作ったので、次は模型を作りたいです。今日は模型を作っているときに少ししゃべりすぎたので次の時間は少し静かにしたいと思います。	<a href="#">NMいじめについて.pptx</a>
4	平等・不平等について	模型・パワポ	模型を作っているときに少ししゃべりすぎた	<a href="#">NMいじめについて.pptx</a>
6	若草小学校正門	模型	正門はもう少しでできます。次は壁を作ります	<a href="#">FFM.pptx</a>

小学校  
6年

図画工作

【題材名】

めざせ！ふり返りの最上級～振り返りの手引きから学び取る

【目標】 「中級以上の振り返りとは？」6年生が導き出して  
3～5年生に伝えよう！

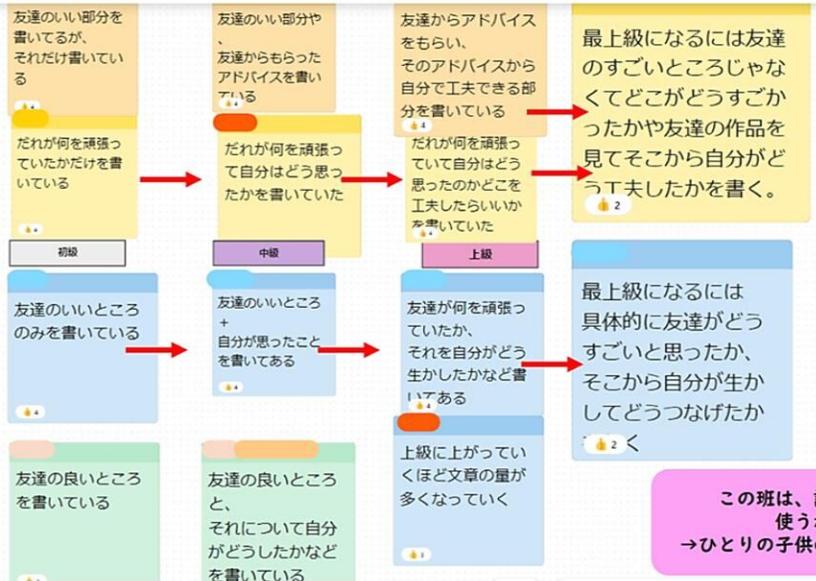
【活用したツール】  
Teams、Whiteboard

【授業の内容など】本校図工では2021年から端末をどう使うか児童に委ね、制作過程の記録や振り返りを児童のタイミングで行えるようにしてきた。昨年度からは、「全員」の振り返りの質を向上させることを目指し4・5年生に「図工の学びを深める振り返りとは？」と問いかけ、振り返る観点を導き出した。次に、本校図工での振り返りのレベル設定を行い、上級レベルには6年生の振り返りの記述を載せて手引きを作成した。その活用も児童に委ねてきたが、本題材では6年生に振り返りにはどんなレベルがあるのかを考える学びの場を設定した。

Teams上でWhiteboardを使用すれば、この難問にも班内で共同して挑むことができた。



6年2組6班 友達



この班は、誰がどの色の付箋を使うか決めていた  
→ひとりの子供の思考の経過がわかった

若草小学校 図工 「めざせ！ふり返りの最上級者!!」 <記録・ふり返りで学びを深めよう>

みんなの気づき	みんなの気づきから	ゼロ級	初級	中級	上級	最上級
進め方	色	形	道具	材料	時間	テーマ
<p>ゼロ級～上級 各レベルの差は？ 6年生に考えてもらおう！</p> <p>R5年度 「学びを深める振り返り」とは？ 4・5年児童と導き出した キーワード（項目）</p>						

